

身近な人、あこがれの人の生き方や考え方を聞いたり調べたり体験したりする活動を通して
自分自身のよさや価値を再発見し、自分の今と未来を見つめる学習

見つめよう わたしの今 そして未来

自分ならではのよさを再発見 —6年—

<本単元のねらい> GT: ゲストティーチャー

日時 9月30日(木) 6校時
対象 6年 男子38名女子26名計64名
指導者 工藤政子 佐藤聡久
場所 体育館

感じる力

ねらい

- ・ かかわり合う人々の生き方や考え方に、尊敬や感謝、あこがれの気持ちをもつ。
- ・ 自分自身を見つめ、自分のよさや価値を再発見し、将来への思いや希望をもつ。

実態

- ・ 中学校や将来の目標や夢を考えている児童もいるが、考えたことがない児童や自分のよさに気付かず、自信をもてない児童もいる。

考える力

ねらい

- ・ かかわり合う人々の共通点やよさを、自分を見つめながら考える。
- ・ GTや友達とのかかわり合いを通して、ものの見方や考え方を深め広げる。

実態

- ・ 調査によって課題を解決し、ものやことの価値を考える力が付いてきた。人とのかかわり合ってももの見方や考え方を広げ深める力はまだ弱い。

<実感をもたせる工夫>

- ・ 小学校段階であることをふまえ、将来の厳しさや苦労より、喜びや価値、やりがいを前面に出すことによって、児童が前向きに夢と希望、可能性を広げて考えることができるようにする。
- ・ GTとの交流では、講話よりも児童が質問や感想を述べたり体験したりする時間を多く設定することによって、児童がより深くGTとかかわり合うことができるようにする。

かかわり合う力

ねらい

- ・ かかわり合う人に話を聞いたり質問や感想を述べたりしながら積極的に交流する。
- ・ 自分でGTと交渉し1対1で交流する。
- ・ 自分が調べ考えたこと、友達の学びのよさを伝え合う。

実態

- ・ 一方的な質問や感想を述べる調査活動から、相手と会話し交流しながらかかわることができるようになってきている。
- ・ グループでGTとかかわった経験はあるが1対1でかかわったことはない。

表す力

ねらい

- ・ GTや自分が会いたい人に自分のものの見方考え方に生かすことができるような質問や感想を述べる。
- ・ かかわり合った人から学んだこと、自分に生かしたいことを自分の言葉でまとめる。

実態

- ・ 反応しながら話を聞き、用意した質問をしたり話の最後に感想を述べたりすることはできるが、話を聞きながら感想を述べたり聞き返したりできる児童は少ない。

<単元の展開> (時間)

24時間

段階	主たる活動	指導の手立て
課題をもつ (2) 本時1/2	○本単元のテーマを設定する。(1) 本時 本時のねらい テーマを設定し学習内容や方法を考え話し合うことによって、本単元への意欲と見通しをもつ。(感じる力)	
	1. 有名人(イチロー選手)の小学校6年生の時の作文を読み、感想を発表し合う。 2. 担任の願いを聞く。 3. テーマを設定する。 4. 本時の課題と視点をつかむ。 〈課題〉自分の今と未来をどのように見つめていくか考え、学習のイメージをもとう。 〈ポイント〉①学習内容と方法を考える。 ②具体的な言葉で考える。 5. グループごとに話し合う。 6. 全グループのイメージマップを学び合う。 7. 単元全体の学習の意欲をもつ。	・ 同じ学年の時の作文であること、夢や目標をもっているなどの感想を引き出し意欲をもたせる。 ・ 時期的にも今までつけた力という面からも価値ある学習であるという担任の願いを伝える。 ・ 学習内容、方法を色別の付箋を用いることで、整理して考え、広がりが見えるようにする。 ・ 他のグループのよさや共通点から、学習のイメージをもち、次時の課題と内容につなげる。
調べる (12)	○単元全体の課題と学習計画を立てる。(1) 〈全体課題〉 ① 社会にはどんな仕事や活動があるか。 ② 身近な人、あこがれの人は、どんな生き方や考え方をしているのか。 ③ 自分を見つめ自分ならではのよさを知る。 ④ 学びの成果を伝え合う発表会をする。	・ 前時のイメージマップの共通点から、単元課題を設定し、児童の願いや思いを聞きながら、学習内容や方法、つけたい力を整理し学習計画を立てる。
	○「自分のよさやならでは」を自分で見つめたり、周りの人から教わったりする。 ○ 社会で行われている仕事や活動を資料で調査する。会いたい人(GT)を考える。 ○ GTとの交流の計画を立てる。 ○ GTから仕事や活動の内容、これまでの歩み、生き方や考え方を聞き、交流する。 ○ 児童一人一人が会いたい人に交渉して、話を聞き交流する。	・ 自分の今を見つめることによって、GTとの交流で自分に生かす学びにつなげる。 ・ 5年生国語「インタビューをしよう」を生かし充実した交流になるように計画を立て練習する。 ・ 児童と担任の願いと思いからGTをむかえる。 得意なことを生かしている方、 国際的な活動をしている方 ボランティア活動をしている方、 地域をよりよくしている方 など ・ より実感をもち、積極的にかかわり合っただけで学習できるように人数、時間、活動内容を工夫する。 ・ かかわった人から学んだこと、生かすことを、自分を見つめながら言葉でまとめさせる。
(2) まとめる	○ 課題にそって自分でまとめる。 ○ 友達と交流しながら学年でまとめる。	・ 課題①～③を自分でまとめ、ものの見方考え方が広がり深まっていることを実感させる。さらに友達と交流し学年でまとめることで考えを深める。
(6) 発信する	○ 発信計画を立てる。 ○ 発信の準備や練習をする。 ○ 学年発表会で発信する。	・ 何のために、何を、どのように、だれに発信するか明確にしてシナリオや資料をつくり、発信させる。
(2) 自分を見つめる	○ 自分でふり返る。 ○ 友達と交流し、学年全体でふり返る。	・ 単元全体をふり返り、ものの見方考え方の広がりや深まりを実感させ、未来への希望をもたせる。